

「地球環境情報統融合プログラム」  
平成23年度公募に対する審査結果について

文部科学省研究開発局環境エネルギー課

1. 公募状況

平成23年度「気候変動適応戦略イニシアチブ」地球環境情報統融合プログラムについて、平成23年4月18日（月）より平成23年5月13日（金）12:00までの間、公募した結果1機関より応募があった。

2. 審査結果

外部有識者より構成される選定委員による書面審査、面接審査の結果、以下の機関を本プログラムの実施機関として選定することとした。

代表機関（応募代表者）：

- ・ 東京大学 地球観測データ統融合連携研究機構（小池 俊雄）

3. 審査

（1）選定委員

本藏 義守※	独立行政法人科学技術振興機構 地球規模課題対応国際科学技術協力事業 研究主幹
井上 孝太郎	独立行政法人科学技術振興機構 上席フェロー
市橋 新	東京都環境局環境政策部環境政策課 環境政策主査
桑形 恒男	独立行政法人農業環境技術研究所大気環境研究領域 上席研究員
松岡 聡	国立大学法人東京工業大 教授
※ 主査	

（2）審査過程

- ・ 書類選考：平成23年5月16日（月）～平成23年5月20日（金）
- ・ 面接選考：平成23年5月20日（金）

# 地球環境情報統融合プログラムについて

## データ統合・解析システム

大気、陸域、海域、人間圏に関する多種多様に観測データや気候変動予測などの大容量データを統合的に組合わせて解析することによって、科学的・社会的に有用な情報に変換して提供するためのシステムを構築

- ・国家基幹技術「海洋地球観測探査システム」の構成要素
- ・期 間:平成18～22年度
- ・実施機関:東京大学、海洋研究開発機構、宇宙航空研究開発機構他



- 衛星データ
- 陸上データ
- 気候予測結果等
- 海洋データ
- 社会経済データ



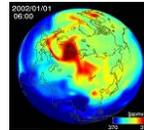
## データ統合・解析システム



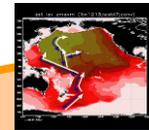
ペタバイト級処理空間において、多種多様かつ大容量データを大規模に解析

- 1.6PBのコアシステム
- 分野横断的なデータの利用を実現する相互流通性技術
- 利用ニーズに応じたデータの入力、品質管理、検索・可視化機能
- 応用機能開発と試行的利用研究

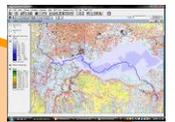
温室効果ガス  
濃度分布



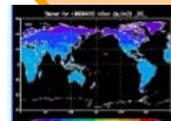
海洋環境



水循環予測情報



- ・分野を超えて共有できる知の創造
- ・世界で共有できる知の創造
- ・体感できるデータと情報の提供



地表面環境



農作物生産  
支援情報



生態系保全  
支援情報

気候変動影響評価の取組や適応策立案に貢献



## 地球環境情報統融合プログラム

地球観測データ、気候変動予測データ、社会・経済データ等を統合解析して創出される科学知を多様な領域での利活用を促進するため、データ統合・解析システムの高度化・拡張の推進、及びその利用促進に向けた検討等を行う。



- (1) データ統合・解析システムの高度化・拡張
- (2) データ統合・解析システムの利用推進